

2021年11月5日

2021年度 第2四半期 決算説明資料



Meiho Facility Works Ltd.
Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

明豊ファシリティワークス株式会社

2021年度 第2四半期 決算サマリー



2021年度 第2四半期 決算サマリー

1Q

◆ 2021.04.19 配当方針の変更

- 株主の皆様に対する更なる株主還元の充実を図るため、基準とする配当性向を35%程度から50%程度へ引き上げ
- 9期連続増配予定（28.0円）※2018年度、2019年度 記念配当5円を含む

◆ 2021.05.21 ソーシャルボンド（第63回日本学生支援債券）への投資

- 本債券やグリーンボンドへの投資、ならびに企業活動を通じて持続可能な社会の形成に貢献する取り組みを継続

◆ 2021.08.20 脱炭素化支援CMサービスを開始

- 温室効果ガスの削減や、再生可能エネルギー導入を検討している企業や自治体向けに、顧客の保有施設全体の脱炭素化支援を強化

2Q

◆ 第2四半期累計期間の、社内で管理する受注粗利益が過去最高を更新

◆ 2021.10.15 通年売上高目標を上方修正

◆ // 第2四半期累計期間の売上高・各利益を上方修正

◆ 2021.11.05 さらに上方で着地し、各利益は最高を更新

※当社ホームページにて「サービス・事例 実績」「受賞 実績」を掲載しております<https://www.meiho.co.jp/ir/news/>

2021年度 第2四半期 決算概要



1 2021年度 第2四半期 決算概要 ①PL

D X 支援事業におけるシステム開発のため、外部システム開発会社を戦略的に活用したこと等による外注費（売上原価）の増加を吸収し、各利益は過去最高を記録しました

（各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て）

	2020年度 2Q	2021年度 2Q	対前年同四半期		
			増減額	増減率	
売上高	1,785	2,017	231	13.0%	
売上総利益	924	1,078	153	16.6%	↑過去最高
営業利益	277	403	125	45.1%	↑過去最高
営業利益率	15.6	20.0	—	4.4P	
経常利益	279	404	125	45.1%	↑過去最高
四半期純利益	183	280	97	53.1%	↑過去最高

2 2021年度 第2四半期 決算概要 ②BS

売上債権回収により、売上債権が減少し、現金及び預金が増加しております

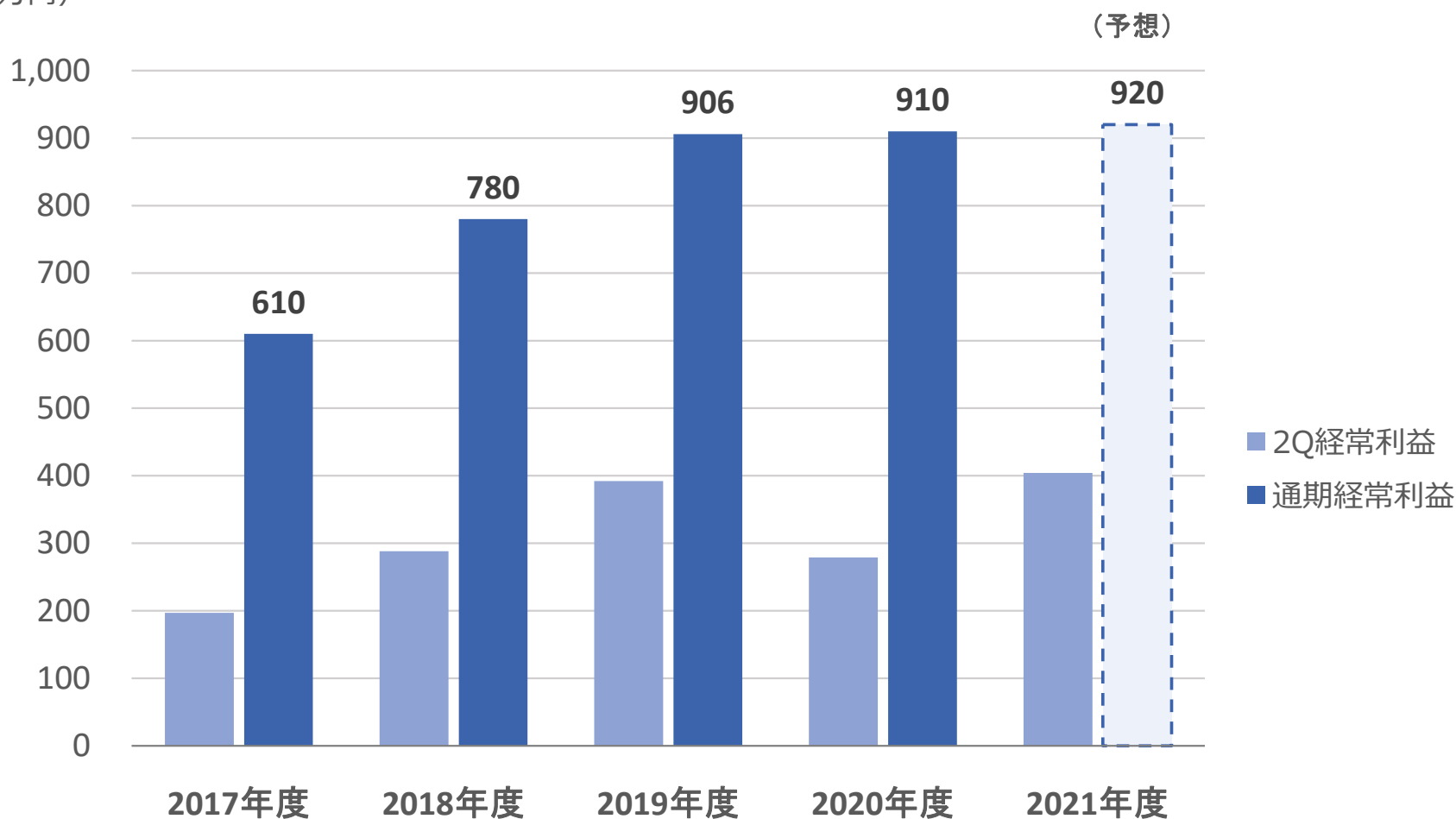
(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

	2020年度末	2021年度 2Q	対前年度末	
			増減額	増減率
資産	5,504	5,197	△307	△5.6%
(現金及び預金)	1,438	1,786	347	24.1%
(売上債権)	3,160	2,455	△704	△22.3%
負債	1,538	1,237	△300	△19.5%
(仕入債務)	37	15	△22	△60.1%
(未払税金)	249	188	△60	△24.3%
純資産	3,966	3,959	△7	△0.2%
(自己資本)	3,907	3,927	20	0.5%

3 経常利益の推移

通期経常利益は、12期連続増益を目指しております

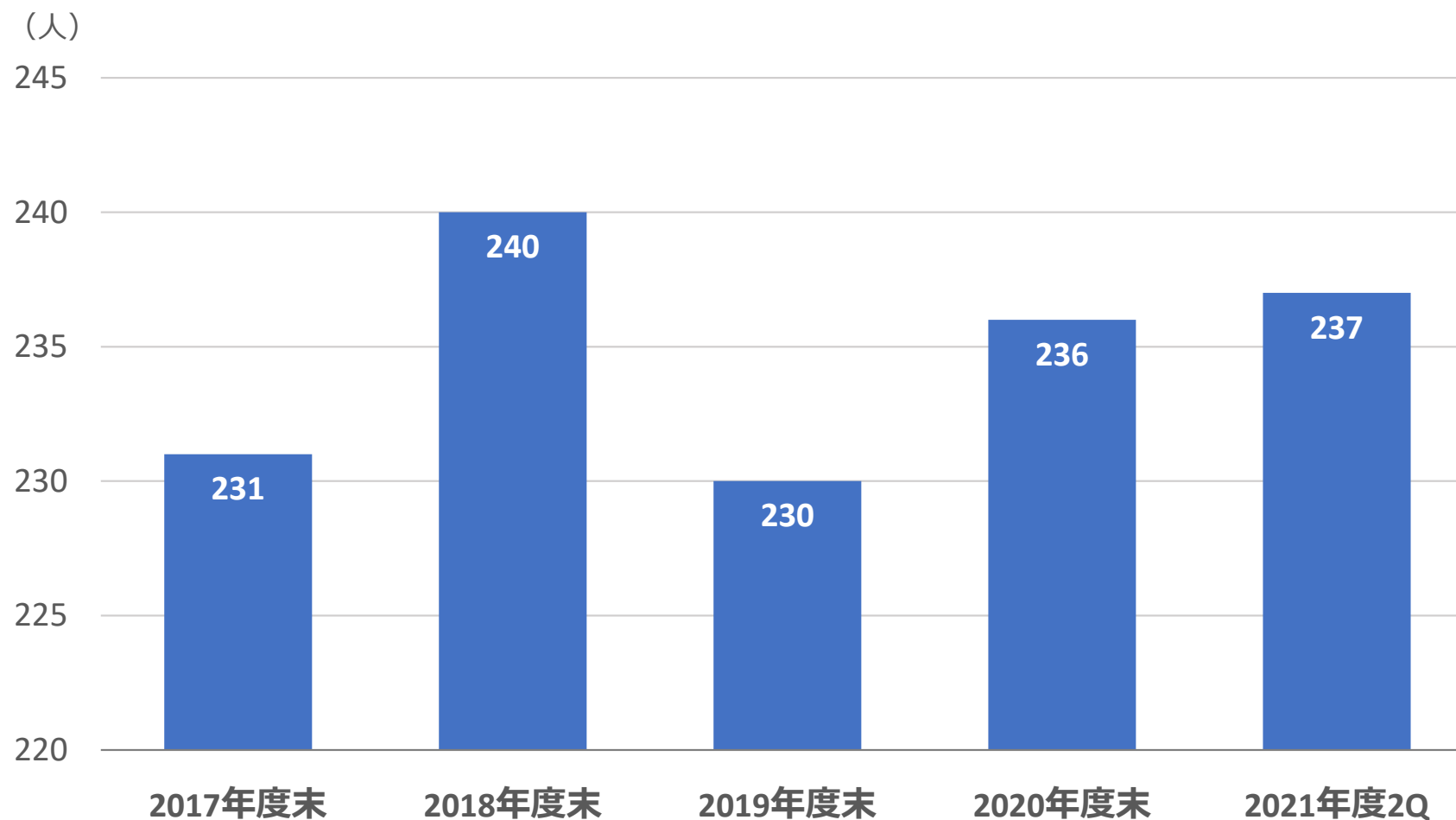
(百万円)



(表示単位未満切り捨て)

4 社員数の推移

前事業年度末に対し、当第2四半期は1名増の237名となりました
引き続き優秀な人材の確保に取り組んでまいります



(注) 役員および契約社員、派遣社員等を含む

5 売上粗利益の定義及び開示に関するポリシー

$$\text{売上粗利益} = \text{売上高} - \text{社内コスト以外の売上原価（外注費等）}$$

社内では**売上粗利益**〔売上高から社内コスト以外の売上原価（外注費等）を控除した金額〕で収益の伸びを管理しております。

お客様との守秘義務契約を考慮し、今後もこれまで同様、売上粗利益の開示は控えさせていただきます。

2021年度 各セグメント状況

1 オフィス事業

- ・ 「働き方改革」を伴うオフィス再編検討にあたり
構想段階の意思決定から、計画～調達～移転に至るまでを
ワンストップで支援

－ 動向 －

- アフターコロナを見据えたオフィス再編プロジェクトや
DX（デジタルトランスフォーメーション）導入に取り組む企業や団体からの
引き合いが増加
- 経済産業省「デジタル行政に対応した本省庁舎執務環境整備に関する業務」
3期連続受託
- 大規模な新築ビルの竣工時同時入居プロジェクトなど難易度の高い
オフィス事業に関するサービスを提供
- 売上高は、前年同期比17.3%増

2 CM事業

- 公共では、庁舎や国立大学等の新築・改修支援
- 民間では、大型開発案件、研究施設、生産施設等の新築再構築支援
- 大規模施設における電気・機械設備の改修・更新のCM

－ 動向 －

- 民間分野では、上記サービスの実績を重ね、新規顧客が増加
- 公共分野では、地方自治体庁舎や学校を始めとする公共施設において当社CMサービスが評価される
 - 国土交通省「2021年度入札契約改善推進事業」支援事業 8年連続受託
 - 千葉県市原市、愛媛県宇和島市、福岡県大牟田市 等
- 「CM選奨2021」5年連続受賞
- 売上高は、前年同期比10.1%増

3 CREM事業

- 大企業、地方自治体、金融機関向けに、保有資産の最適化を支援
- 多拠点施設同時進行プロジェクトの一元管理や、基幹設備のプロジェクト立上げから維持管理まで支援

－ 動向 －

- デジタルを活用した多拠点プロジェクトの進捗状況の可視化や、工事コスト管理による施設管理の最適化、効率化を実現
- 公共分野では、公共インフラ維持保全等、公共施設の老朽化対策において継続的に支援
- 基幹設備のLCCや脱炭素を考慮した最適化更新支援サービスを開始
- 売上高は、前年同期比11.4%増

4 DX (デジタルトランスフォーメーション) 支援事業

- 当第1四半期よりDX支援事業セグメントを追加
- 1994年から当社DXを支えてきたアジャイル方式によるシステム自社開発ノウハウを顧客DX実現支援に活用

－ 動向 －

- 自社開発システム「MeihoAMS (※1)」や、「MeihoPMS (※2)」への関心が高まる
 - (※1) 働き方改革において働く人が自らのアクティビティを可視化して改善につなげるシステム
 - (※2) 建設プロジェクトや施設の維持管理を可視化・一元管理し顧客のDX化を支援するシステム
- 全国に数多くの拠点を持つ顧客へ「MeihoPMS」を導入し、施設管理のDX化実現を支援
- 売上高は、前年同期比124.8%増

2021年度 業績予想

1 2021年度 業績予想

社会的にCM（発注者支援事業）に対する期待が高まったことにより、売上高を上方修正いたしました

(各項目を円単位計算後、百万円未満切捨て)

	2020年度	2021年度	2021年度	前年度比	増減率
	通期	通期 (修正前)	通期 (修正後)		
売上高	4,240	<u>4,270</u>	<u>4,370</u>	129 ※修正前29	3.1% ※修正前0.7%
営業利益	909	920	920	10	1.1%
経常利益	910	920	920	9	1.0%
当期純利益	620	638	638	17	2.8%
自己資本当期利益率 (ROE)	15.6%	15.6%	15.6%	—	0.1P
1株当たり当期純利益	52.30円	55.73円	55.73円	3.43円	6.6%
年間配当金	26.00円	28.00円	28.00円	2.00円	7.7%

2 経営指標の推移

当社成長性に関する経営指標としまして

ROIC=14.8% > WACC=6.88% の状況から、現在の配当方針においても良好な状態を継続しています

ROIC（投下資本利益率）：収益性

事業活動のために投じた資本に対して、どれだけ利益を出せたかを測定する指標です

2020年度 2021年度予定 参考：法人企業統計調査、その他のサービス業2020年度1,238社平均値
15.9% 14.8% 10.4%

配当性向:当社配当方針における還元指標

当期純利益から、どれだけ株主の皆様へ配当還元するかの指標です

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
30%程度	35%程度	35%程度	50%程度	50%程度

WACC（加重平均資本コスト）：

6.88%

(2021/11/4付け終値928円。負債コスト無し、リスクプレミアム6%※、ベータ0.98※、
無リスク金利1.0%※)

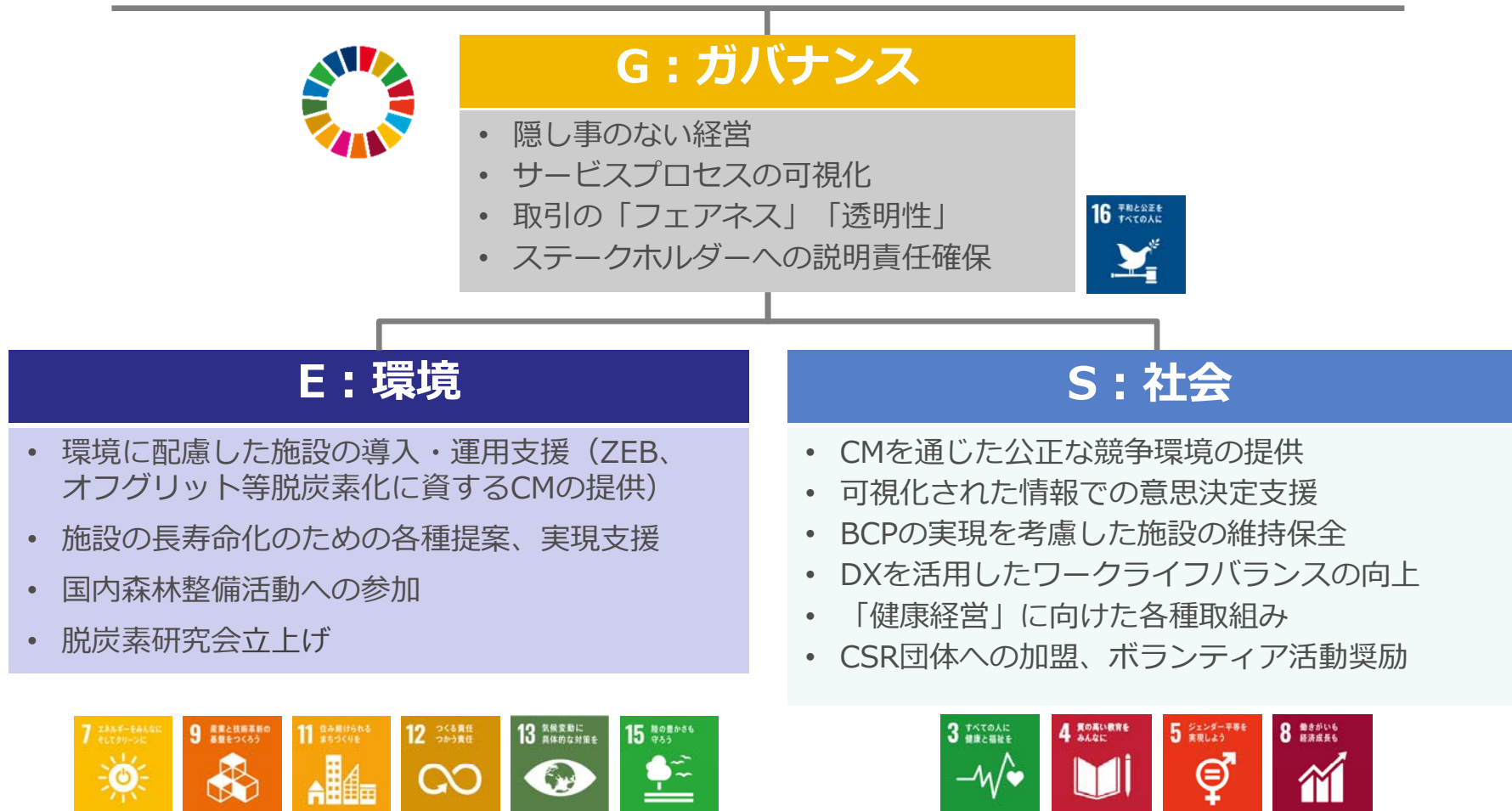
※WACC算定における各指標は、外部専門家による長期的な指標を採用し、

最も普及している資本資産評価モデル（Capital Asset Pricing Model：CAPM）にて算出した指標です

3 ESG/SDGsへの取組み

当社は企業理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて社会課題の解決を目指しています。
 また、環境CM方針を定め、発注者支援事業を通じて地球環境への配慮に貢献し、ESG/SDGsの視点及びDXを活用した事業創造による新たなCM需要を創出してまいります

企業理念 = 「フェアネス」「透明性」「顧客側に立つプロ」



※当社ホームページにて「サステナビリティ」基本方針を掲載しております <https://www.meiho.co.jp/corporate/sustainability.html>



Meiho Facility Works Ltd.

Architecture, Interiors, Planning, IT, M&E Engineering, Project Management

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合がありますことをご了承ください。